



『みんながよろこぶとわたしもうれしい』

「おはようございます。」桃五小の一人一人の心のこもった朝の挨拶、とても気持ちがいいですね。まわりにいる人たちと、心のキャッチボール、あいさつは思いやり・・・、できていますね。

今、6年生の代表の人たちが「朝のあいさつをしましょう。」と声をかけたら、1年生の皆さんがうなずいて、お返事してくれました。よく聴いていて、6年生のお兄さんお姉さんにお返事した1年生、心のキャッチボールができましたね。

さて先週は、連合運動会で6年生が、心を一つにして、励まし合いながらがんばった話をしました。なかまどうし、失敗しても成功しても、同じように励まし合い、認め合い、一緒にがんばるチームワークの大切さをお話しました。

そして今、桃五のみなさんはみんな、1年生から6年生まで学芸会の練習に取り組み始めていますね。これもチームワークがとっても大切。心を一つにしてみんなが、元気に、仲良く、楽しく取り組んでいかなければいけませんね。

そこで、今日は、「みんながよろこぶと私もうれしい」という話をします。

今、皆さんは学芸会の練習でじぶんのできること、自分の得意なことを生かして、みんなと力を合わせながらがんばっていることと思います。

今から10年以上も前、しばらく3年生の担任の先生をしていた時の話です。

今の皆さんと同じように学芸会の前で、教科書にあった「さんねんとうげ（三年峠）」というお話の劇をすることになり、だれが何の役をするか決めることになりました。けれども、いろいろな役が決まっていく中で、一番大事な役の「おじいさん」の役がどうしても決まりません。

「かっこわるいからやだ。」

「ころんでばかりいる役なんてやだ・・・。」

「おじいさんの役は・・・やだ。」

だれも引き受ける人が出てきません。先生も、みんなも、困ってしまいました。

みんなみんな、がんばろうとは思いますが、おじいさんの役はやりたくない気持ちが強いようです。

しばらくしーんとしていました。とても長い時間に思いました。すると、元気でいつも校庭を男の子と走り回っている「よう子ちゃん」が、すっと手を挙げました。

何か意見があるのかと思って、「どうしたの〇〇さん。」と聞くと、「私がおじいさんの役やります・・・。」

「・・・・・・・・・・・・・・・・。おじいさんの役を・・・やってくれるの・・・？」

「だって、おじいさんの役、とっても大切だし、この役が決まらないとみんな困っちゃうでしょ。私が頑張っておじいさんの役をやれば、みんなも助かるでしょ。それに、みんながよろこぶとわたしうれしいもの・・・。だから私がおじいさんの役やる。」

「ありがと・・・・・・・・。でも、だいじょうぶ？」

「うんだいじょうぶだよ。」

それでも心配だったので、その日の夕方、そっと電話でよう子ちゃんのお母さんに事情を話し、よう子ちゃんの様子を聞きました。

すると、やっぱり目を赤くして帰ってくると、ちょっとの間お母さんにひざで「えん、えん。」と、泣いていたそうです。話を聞いたお母さんが、どうしてもいやだったら先生にお話して

あげるよ、と言ったそうです。すると、

「だいじょうぶ。ほかにやりたい役があったけど、おじいさんがいないと劇ができないんだ。それにみんなが喜んで、応援してくれると、私もうれしいし……。私、おじいさんの役がんばる。」とって、今は自分の部屋に布団を敷いてどっすんばったんと、ころぶ練習をしているんですよ、とお母さんが話してくれました。

そうです、よう子ちゃんはちょっと悲しかったけれど、でも一生懸命工夫していたのです。誰も見ていないのに……。でも、みんながよろこぶように、心を入れて自分の仕事を、自分の役割を丁寧に行っている。

自分が今、みんなのためにできることを一生懸命にする、すてきなあとを思いました。

学芸会の当日、4年生の「さんねんとうげ」。おじいさんの『すってんころりん』、とっても輝いていました。

さあ、一生懸命自分の仕事、自分の役割をはたすって……。すばらしいですね。

みんなのために自分のよいところや得意なことを生かしてがんばるって、すばらしいな。

「みんながよろこぶとわたしもうれしいな」と思える気持ちとっても大切です。桃五小の皆さんが、みんなのために自分のできることを考えて、少しずつ自分のいいところを出し合えたら、桃五小はとってもとってもすてきな学校になりますね。

さあ、皆さんは、今、教室で、学校で、そして自分の家で「みんなのために今どんなことができる」でしょう。人の役にたつって、うれしいですよ……。そして、人の悲しむこと人を傷つけること、人に迷惑をかけることは絶対にしない強くやさしい心もってほしいな。

みんなのために自分に今できること、考えてみてください。

